

環境・エネルギー分野

研究領域

「地球規模の環境課題の解決に資する研究」

採択年度	2016年	研究期間	5年間
研究課題名	コーラル・トライアングルにおけるブルーカーボン生態系とその多面的サービスの包括的評価と保全戦略		
研究代表機関	東京工業大学 環境・社会理工学院		
相手国	フィリピン共和国 インドネシア共和国	主要相手国 研究機関	フィリピン大学ディリマン校 (フィリピン共和国) 海洋水産省 海洋水産研究開発庁 (インドネシア共和国)
研究課題の概要			
<p>本研究は、世界的に見て生物多様性がきわめて高い「コーラル・トライアングル」と呼ばれる地域の中心に位置するフィリピンとインドネシアを対象に、沿岸生態系が蓄える炭素（C）であるブルーカーボンに着目し、沿岸生態系の保全や回復力の強化によるブルーカーボンの増強や、ひいては地球環境改善にも貢献する「ブルーカーボン戦略」を、さまざまな調査やモデル開発・分析に基づいて策定・提言することを主な目的としている。そのために、両国沿岸域におけるブルーカーボンのストックの空間分布構造のみならず、その動態を規定するさまざまなフラックスの実態を定量的に明らかにする現地調査を多角的に実施し、その成果に基づいて、物質循環・炭酸系動態・生態系応答などに関する、新たな統合モデル体系を構築する。その上で、構築されたモデルに社会経済的パラメータをリンクさせた将来シナリオ分析などを行うことで「ブルーカーボン戦略」を策定し、両国政府に提言する。</p>			